

豊川市新しい夏の市民まつり第5回検討委員会 議事録

- 1 件 名 豊川市新しい夏の市民まつり第5回検討委員会
- 2 日 時 令和4年11月15日（火）午前10時00分～午前11時30分
- 3 場 所 豊川商工会議所（2階）Bホール
- 4 出席者 25名（委員11名、オブザーバー3名、事務局11名）
委員：11名
笠原委員長・森下副委員長・長谷川副委員長・滝下委員・佐々木委員・鈴木委員・
豊田委員・渡辺（稔）委員・神谷委員・木藤監事・川村監事
オブザーバー：3名
北村・田中・佐竹
事務局：11名
平賀・鈴木・小木曾・杉浦・木村・望月・若生・滝川・松原・岩田・村上
受託会社：2名
中野・松島
- 5 欠席者 オブザーバー：2名
山本・武田
- 6 傍聴者 2名
- 7 内容・特記事項

◆事務局

- ・前回に引き続き、公開により会議を進める。
- ・オブザーバーの豊川警察署生活安全課の渡辺課長は、11月4日付けの人事異動で山本課長に変わったので報告する。なお、本日は豊川警察署生活安全課の山本課長、豊川警察署交通課の武田課長は所用のため欠席。
- ・また、川村監事は、他の会議に出席で終了次第参加とのことであり、遅れて参加される。

◆委員長あいさつ

- ・第4回検討委員会から第5回検討委員会開催まで間に時間があり、事務局、受託会社、並びに私を含め随分と検討を進めた。今回は詰めた内容となり、それを元に皆さんのアイデアを入れて検討委員会の企画としてまとめていきたい。

- 夏の市民まつりの開催の意義、開催の懸念などの声が私のところにも入ってきた。商工会議所が手筒まつりを止めた中で、新しい夏の市民まつりを実施する理由、安全面、市民の要望など総合的な判断が必要だろうという声が多くある。
- 手筒まつりが中止となったので、当初は早めに再開したいということがあったが、実施主体が変わることやコロナの後ということもあり、手筒まつりをそのままの移行ということとはなかなか難しいと認識している。
- 新しい夏の市民まつりは必要でないのかというと、必要であると思う。市民や縁あってこの地に訪れた人、地域の人たちの思い出に残るような新しい夏の市民まつりは、改めて非常に重要だろうと私は思っている。
- これまでの流れでなんとなく開催するのではなく、新しい市民まつりというコンセプトという中で、自信の持てる新しいまつりの企画を皆さんとつくり、市長に諮問して、市議会や市民の皆さんの賛同を得て、実行に移していきたい。
- 隣の豊橋市の豊橋まつりは、豊橋市民に「ええじゃないか」という言葉もあるが、非常に盛り上がっていた。年々大きくなり、全市を挙げて行われていると感じた。豊橋市を模範として、豊川市民の心に残る夏の市民まつりとしたい。
- 事務局も大変苦勞をしながら、ここまで進めてきている。この検討委員会で年内ぐらいかけて、皆さんの意見を聞いていきたいというのが趣旨である。
- 限られた時間だが、皆様の協力で、意義のある会議になるよう、ご協力をお願いします。

◆協議事項

(1) 新しい夏の市民まつりの基本構想・計画(案)について(資料:1・資料:1 参考資料参照)

事務局:「資料:1」及び「資料:1」の参考資料として、「豊川公園等整備予定図」と「豊川市新しい夏の市民まつりのカタチ」を用いて説明。

:前回の検討委員会では陸上競技場をメイン会場(会場構成図A)として提案し、ご検討いただいたが、その後、経費なども算出しいろいろと検討していく中で、令和5年度に整備される新芝生広場をメイン会場とする案(会場構成図B)を本日、新たに提案させていただく。

:これまでの検討委員会でも説明したとおり、今年度は検討委員会を組織し、内容を詰める。令和6年度のまつりの本開催に向けて、来年度(令和5年度)からは、実行委員会

を組織し実行計画など、さらに詳細を詰めていく。

：大会長は豊川市長を想定。構成団体は、検討委員会の構成メンバーを中心に、関係各機関など、オール豊川とし、検討・実施していきたい。

：事務局は、引き続き豊川市観光協会を中心に、豊川市、豊川商工会議所の体制で実施していく。

：スケジュールは、令和4年度中に基本計画の検討を行い、基本計画を策定。令和5年度は、実行委員会を設置し、実行計画、運営・安全計画の策定、関係機関・団体との協議、イベントの開催などについて計画をしている。令和6年度はまつりの本開催の実施を予定している。

：市民まつりのイベント内容について、資料1：参考資料の豊川市新しい夏の市民まつりのカタチのコンテンツのイメージ例を用いながら説明。 ※詳細は「資料：1」、「資料：1（参考資料）」などを参照

：会場構成案として、前回の検討委員会では陸上競技場をメイン会場（会場構成図A）としたが、全天候型の第三種公認の競技場が変わったことから、タータン、芝生のケアなどの養生に係る経費が非常に大きくなる。

：開催時間については、前回の検討委員会で昼から実施してはどうかとあった。野球場の活用も検討内容にあった。 ※詳細は「資料：1」、「資料：1（参考資料）」などを参照

：経費については、陸上競技場をメイン会場とすると7,300万円に上る。 ※詳細は「資料：1」を参照

：陸上競技場をメイン会場とすると経費がかなり嵩むため、委員長にも参加いただき、事務局にて検討し、メイン会場を令和5年度中に完成する新芝生広場（会場構成図B）にしてはどうかという提案である。実施内容は、陸上競技場で実施することと同じである。

：打ち上げ花火の打ち上げは、陸上競技場案では、自由広場（新駐車場・新芝生広場）を打ち上げ場所と想定したが、新芝生広場をメイン会場とすると、陸上競技場での打ち上げでは花火の養生経費が嵩む。野球場では、過去の手筒まつりでの実績はあるものの、隣接する日本車輛の敷地内に花火の燃えカスや火の粉が飛び、製造車輛（製品）を傷めたこともあり、リスクが大きい。（過去に打ち上げ花火の燃えカスや火の粉が完成車輛に落ち、傷めてしまい保険にて保証をしたことがある。）そこで、花火の打ち上げ場所の候補として、

陸上自衛隊の駐屯地内を使用できないか交渉している。陸上自衛隊の駐屯地内でも火気の使用を制限するところがあるため、3号玉は安全面・保安距離（半径100m）も考えると困難であると考えられるため、2号玉の打ち上げで想定している。 ※詳細は「資料：1」、「資料：1（参考資料）」などを参照

：B案となる新芝生広場をメイン会場として開催できれば、諸々の芝生の養生や煙火の養生に係る経費の負担が軽減されるため、経費はA案よりもかなり少なくなり、5,000万円として計上している。

：B案について、安全性との関係から、席数に関してはA案と比べ現時点では調整している。 ※コンテンツ等については、「資料：1」、「資料：1（参考資料）」などを参照

：事務局としては、市民団体等は、企画の段階から参画してもらえることも想定している。

：真夏での開催のため、水を使ったイベントとして、陸上競技場にて水鉄砲大会を受託者からも提案をいただいている。

：ステージコンテンツとして、プロジェクションマッピングの案があるが、投影する建物がないため、スクリーン的なものをつくる必要があるなど、検討すべき事項もいろいろある。

：市民を中心とした市民まつりであり、市民や市民団体などの参加を促すため、検討委員会の各委員の所属団体でコンテンツの企画や運営の協力、アイデアがある場合は、企画等の提案をお願いしたい。例えば、各団体の既存コンテンツを夏の市民まつりと同時開催もいいのではないかと思う。ボランティアでの運営協力への参加でも構わない。

：市民団体による企画実施については、少額ではあるが材料費等の支援はできないかと考えている。

：グループインタビューやアンケート調査で強制動員への否定的な意見が多くあったこともあり、自発的参加を求めたい。

委員長：メイン会場・場所の話について、補足すると、陸上競技場や野球場を活用しないと広さが足りないのではないかとということだったが、養生にコストがかかる。陸上競技場の隣の新芝生広場の活用を代案として提案したところ、陸上競技場と同等のスペースがありそうだとということが分かった。そこでこの新芝生広場でメイン会場・ステージをやるのはどうだろうか、そうすることで、さまざまな問題がクリアできそうである。今までのA案からB案で進めたいと考えているので、それを念頭に置いて本日は検討をしていただきたい

い。

：メインコンテンツとしては、打ち上げ花火・手筒花火との競演であろう。

：打ち上げ花火の打ち上げ場所については、陸上自衛隊のご協力を得ることができそうである。

：1日の体験の全体イベントは、この会場の周辺を使える。

：陸上競技場内の芝生でできる面白いこととして、水鉄砲大会というアイデアもひとつ提示した。老若男女が楽しめるアイデアではないかと思うが、その他のアイデアもあればぜひ提案いただきたい。

：予算についても概算で示しているが、A案とB案では2千万円からの差がある。市としては、負担（支出）は少ない方がいいだろうとは思いますが、決して出さないというわけではないと思っている。こちらもご意見をいただければと考えている。

：資料：1の「みんなで夏の市民まつりを盛り上げよう！」のシートについては、皆様のご意見やアイデアをお願いしたいというのが主旨であり、依頼内容についてももう少し精査が必要であると思う。再度、事務局とも調整した上で改めて皆様をお願いしたい。

：検討スケジュールとしては、予定よりも遅れており、申し訳なく思っている。ようやく会場やコンテンツの案が出てきたので、ご意見を伺い、企画を練り上げていきたい。

：会場となる場所の新芝生広場の整備について、担当課から補足説明をお願いしたい。

事務局：芝生広場と駐車場の整備について、今年度、実施設計を進めており、来年度が建設予定である。資料の図面では、休憩施設100㎡程度が図面上の真ん中にあるが、市役所側の南側に配置する予定。 ※「資料：1（豊川公園等整備予定図）」参照

委員長：まさにイベント広場ということで、今回に合わせていろいろな整備をできるのではないかと考えている。意見ををお願いしたい。

委員：打ち上げ花火について、3号から2号に変わるとどのくらい大きさが変わるのか、サイズ感がわからない。

事務局：打ち上げの高さで20mぐらい＜正確には、70mほど＞の違いが出てくる。空中で花火の玉が破裂したときの花火の開く大きさも3号玉と2号玉とでは半径で20mぐらいは違う。3号玉を上げたいが、陸上自衛隊の駐屯地内を使うと安全管理上に限界がある。

委員長：2号玉は3号玉と比べてどのみち小さいので、花火のサイズよりもその他のコンテンツを

含めて多彩な内容で実施できるようにして、盛り上げることを優先した。

委員：花火のサイズにそれほど大した差がなければ、そのコストの分をステージコンテンツに回せるので、B案の方が会場としていいと思う。安全上の問題で、道路の封鎖はどうか。

事務局：道路の封鎖は、現時点では警察署とまだ調整していない。会場が決まり次第、警察署とも調整をさせていただきながら、必要に応じて交通規制を検討したい。

委員長：B案をベースに、委員の所属の各団体でも企画の参加も考えて欲しい。

委員：もう1点あるが、当団体で、企画をする際に、B案でも野球場を活用していいか。

委員長：活用は可能ではあるが、会場が増え別会場となるので、正直やって欲しくない。この実行委員会の中で、企画を持ち込んでもらって、一緒にやるという発想でやって欲しい。陸上競技場の活用はもちろん大丈夫である。

：豊川市はヨルモウテなどがあり、デジタルアートは豊川が先進だという感じもいい。

委員：1点確認だが、開催時間は12時～21時で決定なのか。

委員長：前回の検討委員会で、だいたい決定している。

委員：半端ではない暑さであるため、暑さ対策が必要であり、それは予算のどの部分か。

：花火では勝負できないと感じた。絶対に違う内容にしなければ、人を呼び込むことはできない。それは花火では難しい。伝統を守るために花火を活用することは理解できるが、花火では勝負にならないし、「豊川のまつりはこれ！」というのが見える工夫が必要と感じた。

委員長：思い付きでもいいので、例えば手筒花火とこういうものを合わせたらどうかとか、花火の演出でもこういうのはどうか、ということもアイデアレベルでもいいのでお願いしたい。

委員：水鉄砲大会はとてもいい。水鉄砲大会は実際にやったことがあるが、とても盛り上がるので、とても良いと思う。ボランティアで出てくれる方もたくさんいると思う。参加したいという人もいると思うので、ルールさえ決まれば可能だと思う。

委員長：暑さを逆手にとった水鉄砲大会は、暑さ対策としてもとても良いコンテンツではないか。

委員：うちの町内では、少々水に濡れたところで町内の誰も怒らない。

委員長：その他の意見を願います。

委員：予算の件で、支出については、前回の手筒まつりを参考にしているとのことだが、物価上昇もあり、材料費等が上がっている。収入が変わらないとして、支出はコロナ禍前と比べ

足りなくなると思う。その点でどのように想定しているか。

事務局：支出は現況を反映して概算で金額をはじいている。「収入」は手筒まつりを参考に「支出」に合わせて出している。そのため、「収入」の方は、本当にこれだけ集まるのかどうかをもう少し検討する必要があると考えている。

：メイン会場も決まり、イベントの内容もある程度決めていく中で、並行して「収入」の方もさらに精査する必要があると感じている。

委員：私も事務局の提案のとおり、B案の方が、費用がかからなくて、余分な心配も少なくいいなと思う。内容については水鉄砲大会も夏だなと感じることができていいと思う。

：まつりは、他の市町村から呼ばれることはあっても、豊川市に呼ぶことはなく、来年は市制施行80周年であり、商工会議所としても青年部が創立35周年となるため、力を入れて人を呼びたいと思う。

委員長：ありがとうございます。その他の意見を願います。

委員：B案について提示されたが、内容もわかりやすくいいと思う。

：今までの手筒まつりは、野球場や陸上競技場といった箱の中で開催しているイメージだったが、新芝生広場にすることで、フラットで開放的なイメージになる。ただ、席数は限られそうであり、また、これまでの手筒まつりと比べて周りから見えやすいことで道路などに人が密集したりしないか不安である。したがって、会場設営についてはいろいろと工夫をして欲しい。

委員長：以前に手筒まつりを陸上競技場で実施した時は、芝生の部分を有料席にし、他の部分を無料席にして比較的開放されていた。しかし今回は、現時点では、ステージを見る人が制限されるかもしれないのでそこがネックかと考えている。その代わりに、昼間から参加型のイベントをこの周辺で実施する対応を考えており、ステージはやや大人向けというのが、現時点での想定である。

：新芝生広場では、有料席・無料席を入れて何名が入れるのかを試算しているか。

事務局：新芝生広場での有料席は、3,000名程度を想定している。芝生広場全体では、5,000名ほど入れるが、5,000名を入れると安全面に不安が出てしまい、出入り口も限られるため、5,000名以上は難しいのではないかとと思われる。

委員長：それだけ少ないと、打ち合せの時と話と違うのではないか。無料の立見席も入れればもっ

と多くの人が入るのではないか。5,000万円使って、ステージのコンテンツを3,000名程度しか見られないとなると話が違って来る。スペースからいくともっと人は入れるはずだ。

事務局：実際には、もう少し入ると思う。

委員長：限定的に有料席には3,000名しか入れないというのではなく、そこはもう一度よく検討して欲しい。

：その他の意見を願います。

委員：B案は、オープンな感じで新鮮味があっていい。逆の課題が出てくるだろうがいいと思う。

：新芝生広場が令和5年度末までに整備され、令和6年度には使用できるようになるということもあって、このまつりがこけら落とし的に活用できるとよい。

：企画を広く募集という点で、地域や市民団体、地元企業とあるが、学生や高校生・中学生・小学生など若者もターゲットにして広くアイデアを募集し、オール豊川とすることで、よりよいものが出てくるのではないか。ぜひ広く募集をかけてもらいたい。

委員長：委員の所属の各団体でもアイデア募集を周知いただきたい。また、各団体等で水鉄砲大会をやっていたとしてもいい。

オガバー：2点ある。1点目は、花火の会場として陸上自衛隊の敷地を活用する方向で調整をしているが、2号玉をステージ正面で上げられるかどうか、確認する。

：新しいテニスコートはこの時どのような使われ方をする予定か。

事務局：花火の打ち上げについては、ステージ裏からの打ち上げを第一候補にその場所を検討中である。

現時点では、テニスコートの活用は考えていないが、養生しなくても活用できるなら、何か活用を検討してもいいとは思う。

委員長：整備中のテニスコートは、完成後どのような状態になるかを担当者にお尋ねする。

事務局：砂入り人工芝で整備しており、12面の整備をする。施設内がフルフラットになっているわけではなく、4面毎に1mの腰壁で囲う予定。そのため、広く全体を1面としてフラットにイベントで使うことは難しい。なお、観覧席も整備している。

委員長：テニスコートとして整備しているので、イベントでは現状使えないと思っている。

オガバー：打ち上げ花火の高さは、2号玉では50~60m、3号玉は120m程度であるため、い

ずれも遠くからは観にくい。2号玉は障害物等の状況で、少し離れたところからはほぼ見ることは難しいと思われる。

副委員長：厳しい制約がある中で、事務局でいろいろ考えていただき感謝する。

：駐車場にブロック（車止め）は置くのか。

事務局：駐車場は3列を予定しており、道路側は車止めを設置するが、図面の真ん中の区画は枠を想定している。芝生広場側は、安全面もあり低木の植栽を入れるなどの可能性はあるが、イベントで使いやすいようにすることを想定している。

副委員長：ブロック等があると夜間の作業でも危ないので、フラットな使い方ができるような整備をお願いしたい。

：委員長から新芝生広場内にあるトイレの位置の話も出ていたが、トイレがあることにより活用時に利用不可部分が出てくるので、面積としてはほぼ一緒といっても使いづらい面もあるのかなと思う。

：「資料：1」の基本構想・計画（案）の「まつりの開催意義」内の記述について、「夏の新しい市民まつりを開催してほしいか」という問いに、・・・の記述は上から目線に感じるため、もう少し柔らかい言い方を検討したほうがよいのではないか。

委員長：ありがとうございます。

副委員長：事務局と一緒に、会場の検討の場に参加をしたが、陸上競技場で実施することには無理があった。新芝生広場でできるとなると1つ課題がクリアになると思う。

：打ち上げ花火の打ち上げ場所の候補については、レイアウトのいろいろな工夫ができると思う。

：桜並木、桜トンネルのところをどのような活用、活性化ができるかが課題となり、現場の詳細の絵があればもう少し委員の皆さんもいろいろなアイデアが出ると思う。

委員：一番大事にして欲しいのは安全性であり、考慮していただくようお願いしたい。

委員長：メイン会場についてはB案の新芝生広場で展開する。市民参加も含めた1日のイベントとする。

：広さの問題もあるため精緻に測り、多くの人が安全に観ることができるよう、今までの手筒まつりと同じくらいの人に対応できるように検討していくということしていきたい。

委員：（異議なし）

(2) 令和5年度新しい夏の市民まつりイベント（案）について（資料：2参照）

事務局：「資料：2」により説明。

：令和6年度のメイン会場はB案の新芝生広場に決定したが、令和5年度は整備工事中ということで、新芝生広場では実証ができない。豊川公園内の使えるところで、イベントを実施する。

：花火について、打ち上げ花火は、陸上自衛隊の敷地内の決まったところで実施したい。

：プロジェクションマッピング、グルメ等はできる範囲で対応する。

：ステージがない中であるが、イベントを実施したい。ステージがないため、手筒花火の実施は難しいと考えている。

：予算の範囲で可能なことを行う。打ち上げ花火は見え方の検証をする。

：市民団体、市民にも働きかけ、令和6年度に向けて市民まつりの開催機運を高めていく。

委員長：イベントについては、800万円程度の予算で検討していくという方針のみ決まっており、今後もう少し詰めた段階で皆さんにご相談する。

(3) 今後のスケジュール等について（資料：3参照）

事務局：次回検討委員会について、これまでの検討委員会では、3月と連絡させていただいていたが、検討が遅れているため、次回検討委員会は1月に追加で開催したい。令和5年1月31日（火）の午前10時から、勤労福祉会館1階視聴覚室で開催する。委員会が1回増えでの開催で、大変申し訳ないが参加をお願いしたい。

：3月までに基本計画、企画案の検討を詰め、承認いただき、進めていきたい。

委員長：資料：1の「みんなで夏の市民まつりを盛り上げよう！」のシートについては、主旨と少し違う内容になっているため、再度、事務局と調整して後日、依頼させていただく。

：企画の意見、アイデアが欲しい、それと皆さんの団体を含めた参加したい、考えたいといったことがあれば事務局へ提案をお願いしたい。

(4) その他

事務局：特になし。

委員長：開催場所とコンテンツのイメージは決まってきたため、これからは内容をどうしていくか

というところである。

事務局：それでは第5回検討委員会を終了する。本日は大変ありがとうございました。